

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2012.3.25 No. 131 連絡先 FAX 042-555-1911



航空総隊

## ◇◇◇航空総隊のもと航空自衛隊横田基地を構成する部隊◇◇◇



航空総隊司令部



作戦情報隊



防空指揮群



航空気象群と航空警務隊



## 3月16日に閣議決定、26日付で航空自衛隊横田基地の運用が開始

\*福生市議会横田基地対策特別委員会（3月19日開催）資料（奥富喜一議員提供）より作成しています。3月16日に閣議決定がなされ、26日付で航空自衛隊横田基地の運用が開始されるということです。現在は隊員の引越しが行われており、26日の運用開始日までには、約760名の移転も完了予定。760名の内訳は、航空総隊司令部が約220名、作戦情報隊が約120名、防空指揮群が約380名、気象及び警務関係部隊等が約40名。（つぶやき：総隊司令部が移転と言われてきたが関連部隊が多人数！）

施設整備計画では、将官宿舎は昨年12月の不発弾発見に関連し工程の一部を見直し、4月中旬まで工期が延長。隊舎は米軍の要望で中庭に駐車場を整備することになり、6月まで工事延長。

### 航空総隊司令部等の移転手続きについて

◇3月5日に米軍第374輸送航空団司令官フェザー大佐と空自防空指揮群司令の日吉1佐が署名した文書の開示の可否については、現在確認中とのこと。

◇航空総隊がなぜテナント単位になるのか…米軍横田基地において、第374輸送航空団が米軍の基地業務を担当（管理部隊）しており、それ以外の所属部隊、例えば、米第5空軍司令部や航空総隊司令部及び関連部隊等はすべてテナント（使用部隊）と呼称される、とのこと。

◇3月16日に閣議決定がされたので、26日に正式に、航空自衛隊横田基地が新設される予定。（自衛隊法施行令の一部改正が行われる。）26日には防衛大臣の記者会見も予定されています。航空総隊に係るオープンセレモニーについては5月末ごろに行うことで、空幕内部で調整中。

## 2人の空将（航空総隊司令官、副司令官）と他の将官2名が横田基地に！

横田基地内の将官区域の将官宿舎には、航空総隊司令官と航空総隊副司令官が、家族とともに居住するそうです。航空総隊副司令官は、2011年7月に新設されました。他に2人の将官も横田基地内に居住するようですが、誰なのか分かりません。横田に移転する部隊から推測すると、作戦情報隊と防空指揮群の司令の一等空佐でしょうか。下の表は、2人の空将の氏名等です。

| 職名       | 氏名   | 階級 | 就任日        | 出身校・期 | 前職          |
|----------|------|----|------------|-------|-------------|
| 航空総隊司令官  | 齊藤治和 | 空将 | 2012年1月31日 | 防大22期 | 航空総隊副司令官    |
| 航空総隊副司令官 | 秦啓次郎 | 空将 | 2012年1月31日 | 防大21期 | 航空開発実験集団司令官 |

\*前航空総隊司令官の片岡晴彦空将は航空幕僚長に、前航空幕僚長の岩崎茂空将は統合幕僚長に就任しています。

## 「米空軍と航空自衛隊の共同作戦を記念」米戦闘機F-86 基地内で移動

2012年3月7日、横田基地内のニーナサークルで展示されていたF-86が、米空軍と航空自衛隊の共同作戦を記念して、第5空軍と新しい日本の航空自衛隊防空事業本部の建物の間に移されたと、米軍横田基地のホームページは伝えています（写真も）。



米軍のF-86戦闘機は、朝鮮戦争で活躍したのだそうです。

私たちには見る機会もありますが、航空自衛隊のF-1戦闘機も7日に移転し、F-86の隣に展示されるようです。横田基地が軍事一体化の様相を深めています。

## MV22オスプレイの横田基地一時配置の中止を要請 周辺基地対策連絡会

横田基地周辺市町基地対策連絡会は、3月14日、田中直紀防衛大臣に下記の要請を行いました。

### 垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの横田基地への一時配置の中止について（要請）

沖縄県の米軍普天間基地に配備される予定の垂直離着陸輸送機MV22オスプレイについて、「日米両政府は、早ければ7月にも横田基地を軸に一時配置する方向で調整を図っている。」との新聞報道がありました。

横田基地は、人口が密集した市街地に所在しており、周辺住民は一日中航空機騒音に悩まされ続け、また、航空機の墜落や部品落下といった人命にかかわる事故に対する周辺住民の不安は高まっています。

このような中、国から横田基地周辺自治体に対し、事前に連絡がないままに新聞報道されたことは、これまでの信頼関係を根底から覆す行為であり、誠に遺憾であります。

また、報道にある「試験飛行を実施し、安全性を確認した上で普天間基地に配備する」という内容が事実であった場合、横田基地へ一時配置されることは、周辺住民の感情を逆撫でするだけでなく、安全な生活を脅かす行為であるとともに、国と地方自治体の信頼関係を喪失させかねない大きな問題です。

横田基地は、これまでも「関東空軍施設整理統合計画」をはじめ、航空総隊司令部の移転など、様々な基地機能強化が行われており、これ以上の基地機能強化は到底容認できず、その姿勢は、たとえ一時配置であっても同様です。

ついては、垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの横田基地への一時配置を行うことのないよう強く要請します。

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長、

(立川市長 清水庄平、昭島市長 北川穰一、福生市長 加藤育男、武蔵村山市長 藤野 勝、羽村市長 並木 心、瑞穂町長 石塚 幸右衛門)

### 墜落くり返すオスプレイ 普天間基地にも横田基地にも配備ノー！

オスプレイは1989年、3月19日に初飛行。1992年7月、ポトマックリバーに墜落、乗員7人死亡。2000年4月、兵員輸送の訓練時に墜落、19人死亡。2000年12月、夜間飛行訓練中に墜落、4人死亡。2000年にはこの他4件の墜落事故を起こし、事故調査で一時飛行停止。2002年5月、飛行再開。2010年4月、アフガニスタン実戦配備のCV22が墜落、4人死亡。まさに欠陥機です。

東京都議会では21日、吉田信夫都議（共産党）が「都は配備中止を国に求めよ」と迫りました。